

C 11 わが国における大学児童学科の現状と問題
日本女大家政 加藤 翠

目的 児童学という表現が提唱されてから約100年を経、わが国で四年制大学の児童学科ができてから33年ほどたった今日、児童学科の状況を把握しておきたいと考えた。

方法 児童学科を置く19大学の主任教員に討する質問紙調査 回答を得た者60人

日本女大児童学科卒業生に討する質問紙調査 34年年30名 40年年30名 52年年46名

結果 ①19大学の児童学科設置年は、24年頃と40年代に入ってから27のピークが分られた。②児童学専攻の専攻科目として開講されているものは、各校により重宝や名称がかなりまちまちであった。③回答を得た教員の性別は男性7；女性3であった。④教員の年齢は平均男性53.1才、女性42.4才で、医学系の男性が平均62.3才と最も高かった。⑤職場を置かれて来た者は男性86%、女性56%、今後変りたくなるかと答えた者は男性56%、女性28%であった。⑥児童学は学としてあやふまれろと考えるかという質問には、肯定した教員は28%であった。⑦卒業生の現在有職者は41%であった。⑧結婚率は全平均83%で、34年年業の若者は93%のほつていた。⑨有職者の結婚率は72%であった。⑩子どもの数は全平均1.5人、34年年では2.1人、有職者平均1.2人、無職者2.4人と、無職の者が有意に高かった。⑪有職結婚者の職種には、小中学校教諭が最も多く、続いて幼稚園教諭となつていた。⑫退職理由は80%が結婚、続いて去職・育児となつていた。